

**サトウ食品、新米飯工場建設へ**  
～単独では国内最大規模のパックごはん生産拠点を整備～  
～設備投資額40億円～

佐藤食品工業株式会社（本社/新潟市、代表取締役社長/佐藤元、以下「当社」）は、国内の包装米飯の持続的な需要拡大を背景として、商品の供給体制および当社が独自に培ってきた包装米飯の強みの双方を一層強化していくことを目的として、新潟県北蒲原郡聖籠町東港に新しい米飯工場（以下「新工場」）を建設し、2019年春から稼働させることといたしました。これにより、東港における当社生産拠点の包装米飯の生産量は、既存設備とあわせて国内最大規模となり、また当社全体の包装米飯の生産能力も、現在の日産83万食から103万食へと大幅に伸ばいたします。

当社は、1988年に世界ではじめて無菌化包装米飯「サトウのごはん」を世に送り出して以来、「ご家庭で炊いたごはんと変わらぬ美味しさ」をコンセプトとして生産の拡大と品質の追求に努めてまいり、これまでに多くのお客様から高い評価をいただいております。

この間、消費者の生活スタイルの変化とともに、包装米飯の需要は高まり続け、当社製品の発売から30年の時を経た現在では、包装米飯は家庭での常備食としての地位を確立するに至り、今後の更なる需要拡大が見込まれております。（「表1・グラフ1：サトウのごはん 売上の推移」参照）

当社における包装米飯の売上高も、昨年度通期では、前年比7.9%増、本年度の第1四半期では前年同期比16.9%増と大幅な右肩上がりで見られ、これらの伸長を勘案いたしますと、2年後の2019年には、市場の需要が当社の供給量を上回ることが見込まれます。（「グラフ2：サトウのごはん 需要と供給の推移」参照）

こうした当社を取り巻く事業環境の変化を背景として、当社は今後も市場の需要に応えつつ持続的な企業価値の向上を実現していくためには、包装米飯の一層の生産体制の強化が不可欠であると考え、新工場を建設することといたしました。

新工場の建設にあたって当社は約40億円を投資し、フードセーフティ・フードディフェンスを高めた安全性の向上、エネルギー効率化による環境負荷の軽減、工場エリア環境・生産環境の向上などを実現することで、これまで以上に、高品質で安心・安全な製品を安定的に供給してまいります。

# NEWS RELEASE

**佐藤食品工業株式会社**

新潟市東区宝町13番5号 〒950-8730

<http://www.satosyokuhin.co.jp/>

さらに、当社は少子高齢化が進む国内市場において将来的に米飯消費そのものの減少の可能性も指摘される中、「日本のお米が持つ魅力」自体を幅広い世代に訴求していく活動も、包装米飯トップブランドとしての当社が果たしていくべき役割と考えております。そのため、現在の東港工場における見学者が年間2千人を超えている状況を踏まえ、新工場では今までより多くのお客様からご訪問いただける「オープンファクトリー」機能を併設することいたします。

当社では、これに対応できる設備・環境を整えることにより、新工場が国内外のお客様に日本の米飯文化の魅力を発信する拠点となり、地域の活性化に繋がるものと考えております。

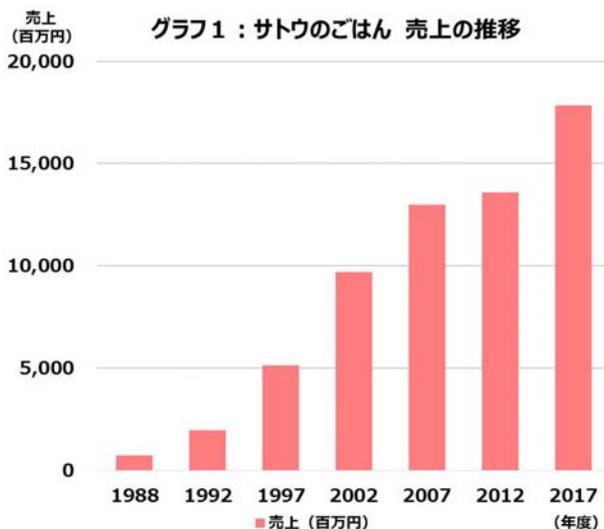
以上

## ■新工場の概要

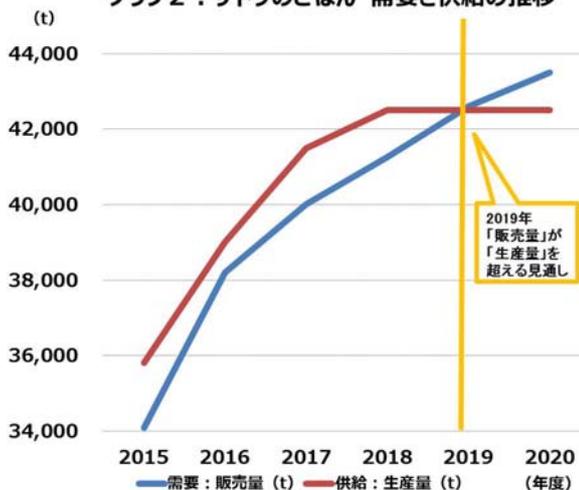
名 称	佐藤食品工業株式会社 東港5丁目工場（仮称）
所 在 地	新潟県北蒲原郡聖籠町東港5丁目626番23ほか
敷 地 面 積	92,583 m <sup>2</sup>
工 事 着 工 日	2018年1月（予定）
生 産 開 始 日	2019年5月（予定）
生 産 能 力	日産20万食 年間6,500万食（年間13,000t）

## ■表1：サトウのごはん 売上の推移

年 度	1988年	1992年	1997年	2002年	2007年	2012年	2017年
売上（百万円）	738	1,977	5,157	9,669	12,978	13,579	17,847



グラフ2：サトウのごはん 需要と供給の推移



【本件に関するお問い合わせ】

佐藤食品工業株式会社 総務部 TEL 025-275-1100